

第2回定例会自民党代表質問

新型コロナウイルス感染症対策等について

「新しい日常」に向けて職員の勤務体制の見直しや、区職員の危機意識のさらなる向上、また区主催の行事やイベントの防疫体制として、サーマルカメラなどの導入を提言しました。さらに防災の観点からAEDの案内用図記号が改正され、統一されたことに伴い、区内に設置されているAEDの表記をJIS規格のピクトグラムに統一するよう要望しました。



※ピクトグラム…情報や注意を示すために表示される視覚記号(サイン)

避難所運営について

今回の感染力の強い新型コロナウイルス感染症拡大の教訓を踏まえ、大地震や風水害による避難所運営を見据えて、「三密」を回避するなど、感染症対策を考慮した避難所運営マニュアルの改定を要望しました。



産業観光について

感染症拡大で大きな打撃を受けた、地域の中小企業・個人事業者、フリーランスなどにスピード感を持った支援の拡充や、緊急事態下でも経済活動を継続できるよう、デリバリーサービスやキャッシュレス決済の促進、また、非対面・遠隔での対応を可能にする環境整備等、基盤的サービスの強化など独自支援の拡充を要望しました。



福祉について

集団感染が発生した福祉施設について、再発防止に向け、徹底的に対策を講じるよう強く提言しました。また、ICTに不慣れな高齢者などが大切な情報を受けられないことがないよう、渋谷ハチコワ大学等での実用的なICT講座の開設など、情報格差が生じないための施策の充実を要望しました。



健康推進について

未知の感染症拡大の不安や、緊急事態宣言に伴うストレスなどの蓄積により、家庭内暴力、SNSによる誹謗中傷、さらに生活不安による自殺など、区民の心身に大きな影響が懸念される中、新しい生活様式に対応しながら、区民の心の状態に寄り添ったメンタルヘルス対策の充実を要望しました。



教育について

区立小・中学校などの休校後の対応について、子供のメンタルケアも含めて、感染予防対策や、安全で安心できる行事等の再開を進めていくよう要望しました。またICT教育について、次期システムでの新型タブレットの有効活用や、双方向のオンライン授業の実現を推進し、緊急事態下でも、子供の学習を円滑に進めるための環境整備を提言しました。さらに、放課後クラブの充実のため、有料プログラムやお弁当の販売などを提言しました。



ご意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。

TEL.3463-1034 FAX.5458-4960